

ご参加の皆さまへのお願い

- ・集合から解散まで統一行動となっています。
- ・歩行中は一列又は2列で歩き、道路横断時など交通安全に十分に気を付けて下さい。
- ・急坂や、石段などもありますので、足元注意して下さい。
- ・果樹や野菜、植物、昆虫などを採取しないで下さい。
- ・ごみは各自お持ち帰りください。
- ・地元の方々のご理解・ご協力をいただき、神社・寺院などに伺います。失礼のないようにしてください。
- ・記録写真を撮る場合がありますので、ご了承ください。
- ・活動中の飲酒はご遠慮ください。
- ・コロナウィルスの感染拡大防止のため、施設見学等の際にはマスクの着用にご協力をお願いいたします。



私たち市民解説員は、ふるさとあきる野市を愛し、地域の自然・歴史・文化の再発見に努めるとともに、まちづくりとこれらを市民の皆さまに紹介し、生涯学習の推進を図るボランティアです。
あきる野市は自然や遺跡、文化財の宝庫です。美しく恵まれた環境のもとで、地域の皆様と一緒に学びあい、活動できることを嬉しく思っております。
今後とも宜しくお願いいたします。

担当解説員氏名：住友恒正・竹之内正雄・大塚博之

市民解説員が案内する市内探訪

歴史と湧水を巡る

～東秋留をゆっくり歩こう～

案内図



探訪順路

①東秋留駅 9:00集合、受付、資料配布⇒②二宮神社 9:25⇒③玉泉寺 9:40⇒④広済寺 9:55⇒⑤森山渡船場跡 10:20⇒⑥お池 10:55⇒⑦前田耕地跡 11:15⇒⑧八雲神社 11:40⇒⑨新開院薬師堂 12:05・12:25アンケート回収・解散
---▶ 東秋留駅 12:30

令和5年4月11日
あきる野市中央公民館

探訪地区の江戸期の様子(「新編武蔵風土記稿」より)

平澤村…水田少なく陸田多し、總て平地にして民家47軒散住せり
二ノ宮村…水田陸田とも等分なり民家120軒散住せり
野邊村…地形すべて平地にて山林なし、水田少なく、陸田多し

② 二宮神社…二宮2252番地

- ・祭神 国常立尊…社伝によると日本武尊が御東征の折に祀ったと言う
- ・創建 年代不詳、小川大明神又は二宮大明神と称え、明治3年に二宮神社と改称
- ・府中6所宮(武蔵国総社)…府中大國魂神社 の二之宮
14世紀中頃の「神道集」に一之宮から六之宮の
武蔵六之宮一覧表がある
- ・源頼朝、北条氏より崇敬をうけ、徳川家康からは
御朱印15石を受ける
- ・例祭日は9月9日、「しょうがまち」とよばれる
- ・筒粥の神事 1月15日で農作物の吉凶を占う神事
- ・本殿は江戸時代初期の形態を伝え、宮殿は室町時代後期以前と考えられ、
市有形文化財(建造物)に指定されている
- ・二宮城跡に指定されていたが発掘調査結果では遺構は見つからなかった



③ 鷲峰山 玉泉寺…二宮2265番地

- ・天台宗 延暦寺派、八王子高月の円通寺末。
- ・「玉泉寺縁起」では寛永18年(1641)
上野寛永寺衆徒吉祥院が開基、靈山院亮海法子
全海が中興したとある。
- ・本尊 阿弥陀如来
- ・沿革 当初は屋城に建てられていた物を移築した。
- ・お十夜の寺で陰暦10月6日から15日にかけて10昼夜修される念仏、本寺では元禄
年間以前約300年以上伝えられてきた。
- ・本堂には成田さんより遷座されたとされる木造不動明王像がまつられている。
- ・境内に市天然記念物のエノキの大きな木がある。
- ・3代将軍家光より20石の朱印地を賜る。
- ・東秋留小学校の前身である二宮小学校の校舎として使われた。



④ 平沢山 広済寺…平沢732番地

- ・臨済宗建長寺派
- ・創建は天正15年(1587年)2月、開山は椿山仙禅師、開基ははっきりしないが
「新編武蔵風土記稿」では「当村の名主八郎左衛門が
先祖なりとのみ言伝にて其年歴等は詳ならず」とある。
- ・本尊は釈迦牟尼如来。
- ・文政3年(1820)に火災に会い、堂宇・古文書・寺記等焼失し
天保7年再建。昭和24年(1949)再度火災で山門を残し焼失。
- ・見どころ…枝垂れ桜、境内一角の湧水、お手玉石
田中丘隅の回向墓



⑤ 森山渡船場跡

- ・多摩川越えは五日市街道の難所と言われ、対岸の牛浜方面へ渡るため
渡し船が設けられていた。大正14年多摩橋が完成しその役を閉じた。
- ・渡しから旧五日市街道ー北宿へ抜ける道があった



⑥ お池

- ・日本武尊が東征のおり、この地に水国の神霊
国常立尊を祭った所、水が湧きだしたという。
- ・この地で雨乞いが行われた。遠くは田無
の方からも雨乞いの種水を貰いに来たと言う。
- ・市天然記念物のフジとヤナギが有る。
- ・オシャモジ様があり、風邪の神と信仰されている。
- ・「東京の名湧水57選」に選ばれている。



⑦ 前田耕地跡…野辺1番地付近

- ・団地建設に伴い昭和51年(1976)から昭和59年(1984)まで発掘調査が行われ、
縄文時代草創期～後期、弥生時代、平安時代の住居跡が発見された。
- ・縄文草創期(1万6千年～1万年前) 住居跡2件が発見された、日本最古の
住居跡であり、槍先型尖頭器、無文土器、サケ科の魚の顎歯、熊を含む動物
の骨、石器製作跡等多数出土した。
槍先尖頭器、石器、石器片は国の重要文化財に指定された。
- ・縄文後期(4千年～3千年前) 竪穴住居に石を敷き詰めた柄鏡型敷石
住居跡が発見される。公園内で復元されている。
- ・弥生時代の竪穴住居跡が公園から3軒、北側地区から6軒発見された。
土器類は稲作の発達を裏付けるものが多く、煮沸に
適した形状の物が作られている。



⑧ 八雲神社…野辺316番地

- ・御祭神は素戔鳴尊
- ・野辺の鎮守。長禄年中(1457～59)の創立と伝える。
- ・祇園牛頭天王を勧請して、村内の新開院が別当となって、
年々6月15日祭日としてきたが、明治維新の時に八雲神社と改めた。
- ・境内社の日枝神社は、神仏分離の時に、山王権現を改号し境内に合祀した。
- ・五輪塔…地輪には「応永7年5月9日」「浄林禅門」の字が刻まれ、室町時代初期
の様式を備えている。伊奈石製である。
- ・池は「東京の名湧水57選」に選ばれている。



⑨ 新開院…野辺435番地

- ・山号は寿域山、臨済宗建長寺派
- ・開山は普門寺八世の菊隠英禅師。
- ・開基は不明、準開基は北条氏康といわれている。
- ・開創は長禄元年(1457)と伝えられている。
- ・薬師堂には、本尊の薬師如来、日光・月光菩薩、十二神将が安置されている
これらは明治初年神仏分離の際、鎌倉八幡宮から寿福寺を経て遷座された
日光・月光・十二神将の台座裏には、元和5年(1619)7月13日伊藤政世施主
として再興した旨の墨書きがある。

